

# 会議等状況報告書

会議等の名称	小川にかかる橋梁意見交換会	
日時	令和3年12月19日(日)午後2時30分～午後7時00分	
場所	香久山小学校 体育館	
出席者	香久山地区住民	41名
	中部地域整備(株)	農中課長、大井課長
	玉野総合コンサルタント(株)	澤田部長、阪上技師
	日進市区画整理課	伊東部長、上川原課長、石原課長補佐、榊原主事

## 会議状況要旨

市

- (司会挨拶)
- (部長挨拶)
- (出席者紹介)
- (本日の説明会の流れについての説明)

中部地域整備(株)

- (組合事業の進捗状況や今後の予定についての説明)

玉野総合コンサルタント

- (道路交通調査についての説明)

### 【質疑応答】

住民

今ある人道橋はどうなるのか。

市

遊歩道に接続されているため、残せるものなら残したいが、現段階においては設計をしていないため、判断ができない。

住民

橋梁は組合のメリットばかりで、香久山にはメリットがない。

市

橋梁を設置することにより、メリットとデメリットが生じることは認識している。意見交換会によりデメリットをお聞きして少しでも歩み寄ればと思っている。

住民

白山黒石線が渋滞しているにもかかわらず、計画されている道の駅ができれば、さらに渋滞がひどくなる。そのうえ、区画整理事業や商業施設によってさらに交通量が増えるのではないか。

市

学識経験者からも、都市マスタープランに位置付けられている幹線道路の整備をしてから、交通量の増える要因となる区画整理事業や商業施設の誘致などをすべきであるとの意見であった。既に区画整理事業が進んでいるならば、幹線道路の整備を早急に進めるとともに、都市計画上の過渡期であることを理解していただくように努めるような助言をいただいている。

住民

橋梁の建設により、区画整理事業地内と北部浄化センターをつなげるというものなのか。

市

橋梁に共架するライフライン等は設計や事業者への聞き取りによって決定するものだが、香久山西部土地区画整理事業地内は北部浄化センターの処理区ではない。

住民

遊歩道は橋梁により分断されるのか。

市

小川沿いに整備されている遊歩道が、既に設置されている門木橋により分断されている現状を鑑みると、この橋梁の下を通ることはできないのではないかと推測される。設計していないので詳細なことを申し上げることはできないが、香久山西部土地区画整理事業側にも遊歩道を整備し、今ある人道橋を生かすことができないかと考えている。

住民

現状において渋滞で困っている。すぐに対策をしてほしい

市

現状の問題点は橋梁とは切り離して考える必要があり、右折帯の長さや信号現示などは今後、公安との協議により対策を行いたい。

住民

意見交換会とのことであるが、誰と誰の意見交換会なのか。

市

本日、お集まりいただいている香久山地区にお住いの皆様方と、日進市による意見交換会である。

住民

道路交通調査の結果を市はどのように考えているか。

市

白山黒石線の交通量が非常に多いことが数字で示された。香久山西部土地区画整理事業地内の住宅計画戸数と商業施設による交通量を上乘せすると、さらなる交通渋滞が引き起こされる推計となっている。しかしながら、住宅計画戸数に達するには何年もかかるであろうし、商業施設もオープン当初とその後では来客数が全く違うため、あくまでも最大の数値で推計したものととらえている。

住民

橋を作ってほしい人はなぜ来ないのか。

市

市が橋の建設を進めている現状において、意見を言う必要がないからと思われる。

住民

橋のメリットは何もないのではないか。

市

日進市としても橋梁の建設により、メリットとデメリットの両方があると認識している。お住まいの地域や環境などにより異なるため、意見交換の中で解決を図りたい。

住民

前回の説明会では、橋梁と香久山環状線との接続部にポストコーンが設置されていた。このシミュレーションでは、ポストコーンは設置されていないということは、ポストコーンは設置しないとのことか。

市

前回の説明会でお示した案は、過去の公安との協議内容を図化したものであり、最善策とは考えていない。今後は公安との協議を重ねつつ、ゾーン30に設定した地域に車両が入り込まないような対策が必要だと考える。

住民

都市計画道路野方三ツ池公園線の進捗状況は。いつ完成するのか。

市

現在、用地買収を行っている。完成年度は未定である。

住民

香久山西部土地区画整理事業の完成年度はいつか。

市

現時点では、令和8年度の予定である。

住民

株山特定土地区画整理事業の事業計画に反しており、市が行っている行為は不法行為である。

市

株山特定土地区画整理事業は完了している。橋梁の建設が、法的においても都市計画上においても反しているとは考えていない。

住民

橋梁ができると、そこに工事車両は通るのか。

市

区画整理事業として道路や公園などを整備しているが、こういった工事車両はすべて南側の白山黒石線から出入りする予定であり、香久山地区からの出入りは考えていない。しかしながら、個人が宅地を建設するなどといった工事車両は、コントロールすることはできない。

住民

この意見交換会は橋を造るのか造らないのかではないのか。

市

道路交通調査の結果報告と浮かび上がった課題等について意見交換する場と考えている。

住民

市長が意見交換に来るべきではないか。市長と直接話がしたい。

市

持ち帰り内部で報告及び協議をして、回答したい。

住民

橋梁ができると、交通渋滞がひどくなるなら、作らなければよいのではないか。

市

区画整理事業によって交通量は増えるが、香久山環状線においては計画交通量を超える推計にはなっていない。

(意見)

住民

香久山にとって、橋梁のメリットはない。香久山西部土地区画整理事業のためではないか。

橋梁に賛成だとか、反対だとかで来ているわけではない。道路交通調査の結果を聞きに来ている。

香久山西部土地区画整理事業のために、なぜ香久山区が我慢しなければならないのか。

渋滞がさらに激しくなるならば、橋梁により道路をつなぐ必要がある。

ゾーン30に入り込む車両がそれほど増えないとの推計に安心した。

門木橋は歩車分離がされていない。ここを通学路にするのは危険である。

香久山小学校のPTAの立場で発言するが、歩車分離された橋梁設置は必要であると考える。

歩車分離された広い道路を通学路に指定すれば、ニュースで流れるような車が通学児童の列に突っ込む事故が想定される。

渋滞対策は橋とは切り離し、信号現示や右折滞留長の変更などは、今すぐにはできるはずである。

香久山西部土地区画整理事業が完了して、橋梁の必要性が生じてから検討すればよいのではないか。

今ある人道橋を拡幅して、歩行者と自転車が安全に通れる橋にすれば解決する。

道路交通調査の結果に対する解決策と橋梁の是非については、別問題である。

小川の西側の住民は橋梁に賛成かもしれないが、その地区内で事業を完結させてほしい。

議会で決定したとしても、意見交換会での合意なしでは橋梁は進めないでほしい。

香久山西部土地区画整理組合に対し、住民同士の対立を生まないように、市から再考を促すべきである。

以上